

日欧共同研究・地域BWA（プレ5G）実証実験について

株式会社愛媛CATV（本社：愛媛県松山市、代表取締役 宮内隆、以下 愛媛CATV）は、総務省及び欧州委員会の研究開発委託事業である平成30年度戦略的情報通信研究開発推進事業（国際標準獲得型研究開発）日欧共同研究に採択されております「稠密環境におけるモバイルブロードバンドアクセスネットワークの5Gによる高度化の研究開発(5G-Enhance)」について、東京農工大学（研究代表者 梅林 健太）とともに研究分担者として研究参画しておりますが、今後の5G時代を見据え、愛媛CATVの地域BWA（プレ5G）高速無線通信を使用した屋外実証実験を、愛媛CATVのサービスエリア内（松山市）において共同で実施します。

実証実験の舞台として、瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ2020」を想定し、基礎技術の検討実証を行っているところですが、今回は、11月10日（日）に松山市久谷地区で開催されます「第5回サイクルロゲイニング大会 in 久谷」（『坂の上の雲』のまち松山サイクルロゲイニング大会実行委員会）において事前予備実証（電波測定システムの検証テストや自転車による映像中継実証）を予定しております。

本プロジェクト(5G-Enhance)では、ローカル5Gを想定した複数のユースケースにおける実証実験を通し、プロジェクトにおいて開発した要素技術の有効性、妥当性を明らかにすることを目指しています。今回の事前予備実証では、アドホックスポーツイベントというユースケースとして、愛媛県におけるサイクリングイベントにおけるオンデマンド・マルチアングルビデオストリーミングを効率的に実現するため、周波数利用を把握するための観測、学習、データベースなどの要素技術の基礎検証実験を行う予定です。

■実証実験イメージ



■本件に関するお問い合わせは

株式会社愛媛CATV TEL089-943-5001柴田（経営戦略室室長）